

## 緑の相談コーナーだより

NO. 331 2013. 1 . 1発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

### 身近な樹木“タチバナ”（橘）

～<sup>かくわ</sup>香しき<sup>ほまれ</sup>誉れ・右近の橘に代表される樹～



ニッポンタチバナ（タチバナ）  
*Citrus tachibana* (Makino) Tanaka

タチバナは、別名ニッポンタチバナとも言い、ミカン科の日本における唯一の野生かんきつ類とされます。その実は小さく、ミカンに似ていますが、黄色い果皮の表面は粗くなっています。香りがよいので食べたくなりますのですが、酸味が強すぎ、種子も多くて、生食には向きません。和歌山県、山口県、九州、四国の海岸に近い山地にまれに自生する日本固有の常緑小高木といわれます。高さは2～4mとなり、緑色の枝が密に茂って、葉腋にはトゲが生え、葉は皮質で濃い緑色で艶があり、互生します。なお、高知県室戸市にある野生林は天然記念物に指定されています。

京都御所の紫宸殿の前庭にある右近の橘、左近の桜は有名で、三月のひな人形の向かって左側にもこの橘が飾られます。しかし実際のところ、ここでの橘は果実が大きく、栽培品種に属するもので、これをタチバナと呼ぶのは誤りと言われます。元来タチバナは、古代の食用ミカンの総称であったと言われ、ここでいう「右近の橘」は、多分紀州ミカンのもとになったコミカン様のものとされています。現在、種名として記載されているタチバナは、近年になってわが国に自生している野生ミカンにつけられたもので、万葉時代に詠まれたタチバナには、もちろんこのタチバナも含まれていたと思われ。また、橘には香しく誉れ高いという意味がこめられていたようで、鎌倉時代の大工さんは社寺などの大工事を完成させると橘の姓や橘の紋をもらったと伝えられています。

タチバナの植物名の由来ですが、牧野博士によれば、「外国から柑橘を初めて日本に持ち込んだ<sup>たじまもり</sup>田道間守の名に基づく」とされ、立った花の意とするのは正しくないとされています。これについては、日本書紀に次のよう



隅切り角に橘

に記述されていることに基づいているのです。「垂仁天皇の命を受けた田道間守は、<sup>ときじくのこのみ</sup>登岐士玖能木実(橘のこと)を求めて<sup>とこよのくに</sup>常世国(永久不変不老不死の理想郷で、現世を離れた遠く海の彼方にあると考えられていた)に渡り、十年の歳月を費やしてこの果物を持ち帰ったが、天皇は既にこの世の人ではなかった。落胆した田道間守は、持ち帰った枝葉のついた橘の半分を皇后に献上し、残り半分を天皇の御陵の扉にかけた。その後この橘は常世物として、人の世に永遠の繁栄をもたらすものとして珍重された」という物語です。この日本書記の伝説から、橘の別名は<sup>とこよくさ</sup>常世草ともいわれています。

五月まつ花橘の香をかげば

昔の人の神の香ぞする 古今集

駿河路やはなたちばなも茶のにほひ 松尾芭蕉



## 公園だより

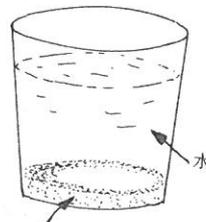


### バラ園

新年明けましておめでとうございます。去年は師走からの寒波と大雪に見舞われ、新年になっても大雪が続く、厳しいお正月であったように思われます。特に岩見沢市は、連日交通障害や除排雪に追われ、大いに気をもみましたね。今年は道内の他地域で豪雪に悩まされているところもあるようですが、岩見沢市は平年並みといったところでしょうか？今月のバラ園は、7月のバラサミットに向けた、リニューアルの工事も一段落し、春を待つしばしの間、静寂の季節を迎えます。この様子でいきますとバラ達は、ゆっくり休んで、春の目覚めを迎えることができるのではと期待されます。バラサミットに向け、おだやかな一年になることを祈りたいものです。

▼今月のバラ園からの一口メモは、バラの利用法・<sup>うわぐすり</sup>灰釉薬の作り方についてです。バラは鉄分が多いので、剪定したバラの枝や葉を集めて乾かし、焼いて白くなった灰を集め、できるだけ細かいふるいにかけてから、水を張ったバケツなどに入れます。ときどきうわ水を取りかえ、あく抜きをした後、乾かして土灰にします。これは長石やワラ灰と共に陶器の釉薬として利用します。調合によって面白い灰釉の色が楽しめます。自分で育てたバラの灰を使って陶器を作るのも味があるものです。

### 灰釉のつくり方



灰（これが灰釉になる）

室内公園色彩館では、リニューアルの工事もおわり、お正月からは新装オープンの運びとなりました。去年は年末までご迷惑をお掛けしましたが、どうぞ一足早い新春の雰囲気をお楽しみ頂きたいと思ひます。

南国温室では、バナナやかんきつ類の実が色づき、南国の花々が咲いてます。屋外とは別世界の南国情緒を楽しんで下さい。

## 田園を金色に染め春を告げる花～ナノハナ 花言葉 豊かな財力



春の田園を彩る代表として、畑一面を黄色に染めて咲き競うナノハナは、アブラナ科アブラナ属の1～2年草です。別名ハナナ（花菜）あるいはナバナ（菜花）と呼ばれ、お正月頃から切り花として出回り始めます。菜種油をとるアブラナも同じ仲間ですが切り花にはされません。アブラナは、原種は中国から渡来したものとされますが、基本種はヨーロッパに自生する多年草のカブです。古くから、日本各地で栽培されてきましたが、最近はその古くから栽培されてきたアブラナの姿はあまり見られなくなり、代わって、セイヨウアブラナやウンダイアブラナが多く栽培されているようです。名前の由来は「菜の花」で野菜（菜っ葉）の花という意味です。観賞用ばかりでなく、菜の花の浸し物やあえ物は春の食卓に一度はのせたい味です。

ふつう、種子から育てるには、秋に播きます。耐寒性もあって、特に難しい手入れは必要ありませんが、モンシロチョウの幼虫がつくのでその対策くらいでしょうか。

## 1～2月の園芸講座・行事案内

### 市民園芸講座の内容紹介

#### ♣庭木・花木・果樹管理の基本

日時 1月 27日（日） 13:00～15:00

講師 緑化相談員（樹木医） 泉 征三郎 定員 40人 参加料 無料

#### ♣土壌と肥料管理のポイント

日時 2月 21日（木） 13:00～15:00

講師 農業改良普及センター 普及指導員 さん 定員 40人 参加料 無料

#### ✕いわみざわ「第4回・洋ラン展」

日時 2月 21日（木）9:00～24日（日）15:00

場所 室内公園「色彩館」ロビー 主催 いわみざわ洋ラン愛好会

#### ♣洋ラン栽培の楽しみ方

日時 2月 24日（日） 13:00～15:00

講師 北海道蘭友会理事 阿部 春樹 さん 定員 40人 参加料 無料



編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで

# 相 談 日 記

**問** 我が家の庭に植えた、樹木の生育状況が気になっています。ほかの家の樹木に比べ、幹や枝の伸びが悪く、植えてからずいぶん経つのに、短く細い枝ばかりが多く、長くて太い立派な枝が出てきません。これらの原因として考えられることは何でしょうか？また、治療法などがあれば知りたいのですが！

**答** 土質が悪いためか、肥料分が不足しているか、何らかの原因で根が傷んでいることなどが考えられます。まず土質をチェックしてみましょう。根元の土を手でひとつかみ取り、強く握ってみます。手を開いたときに土がくずれてしまうようなら砂質、固まったままなら粘質です。植物の成長には、固まりを指で軽く押すとくずれるような土が適しているのです。また、大きくなる品種なのに枝が伸びない場合は、根が傷んでいる可能性があります。多雨や水のやりすぎで土の湿度が高くなったり、逆に夏などに土が乾燥したりすると、根が傷んでしまい、枝に栄養がいなくなってしまうことがあります。

土の湿度を適切な状態にするには、水やりに気を配るだけでなく、土質のよい場所で育てることが大切です。いくら水を適切に与えても、粘質や砂質の土壌では過湿になったり、過乾燥になりやすいのです。

また、根が健康でも栄養が足りない場合は枝の成長が抑制されます。特にチッソ肥料は枝や葉の成長には欠かすことができません。

不適切な剪定よって、枝が伸びなくなることもあります。枝の切る位置を間違えると枝が枯れてしまい、そのまま伸びない場合があります。

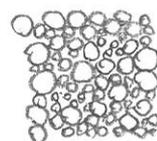
**治療と予防のポイント** 土質のよい場所に植え替えるか、成長に適した土に改良しましょう。粘質の土の場合は堆肥を、砂質の土のときは赤玉土と堆肥を混ぜ込みます。栄養不足と思われる場合は、早春に芽だし肥料としてチッソ肥料を施します。剪定法としては、枝を切るとき枝の途中で切らないようにします。枝のつけ根から切るか、分岐している部分の一方を切るようにしましょう。枝の途中で切る場合は、外側に出ている芽の少し上あたりで切ります。芽と芽の間で切ると、下の芽のところまで枯れてしまい、枝が伸びなくなってしまいます。



団粒構造の土

## よい土の構造

土と土の間にたくさんすき間がある



## よくない土の構造

すき間がない

単粒構造の土